

# 第3期 地域福祉活動計画

～一人ひとりが輝き、人と地域をやさしく包むまち いまばり～

平成31年度～令和7年度



令和5年4月

今治市社会福祉協議会

# 1. 計画・修正の基本的な考え方

## 地 域 福 祉 活 動 計 画

「社会福祉協議会」は、全国、都道府県、区市町村に1か所ずつ設置され、地域福祉の推進を図る団体として、社会福祉法に位置づけられています。

“誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり”の実現に向けて、一人ひとりの自分らしい暮らし方、生き方をしたいという思いを大切に、住民のみなさまや関係団体と協力しながら、地域の課題解決に取り組んでいくためにこの計画を作成しています。

### 主な経緯

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、つどいの場・居場所づくりなど、多くの地域で活動が長期間にわたり休止・自粛されていた。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う生活福祉資金特例貸付の相談・申込の窓口を社会福祉協議会が担い、休業・失業等による収入減少で生活が困窮する世帯への相談・貸付業務を優先し、その業務が2年半にわたり続いてきたことで、計画の進捗に遅れが生じた。

### 修正方針

- ① 計画の進捗の遅れを考慮し、計画期間の見直しを行う。
- ② 現在の第3期地域福祉活動計画を基本ベースに、2年以上続くコロナの状況、地域の実情をふまえ、一部、計画の見直し・修正を行う。  
\*基本理念、4つの基本視点、12の活動目標、24の活動項目は維持  
\*活動項目の内容部分を一部修正
- ③ 計画の進捗状況を判断するための評価方法を明確にする。

新型コロナウイルス感染症による地域福祉活動への影響などをふまえ、計画期間や内容を一部修正・見直しすることとしました。



## 2. 計画の基本理念・基本視点

### 基 本 理 念

一人ひとりが輝き、人と地域をやさしく包むまち いまばり

#### 4つの基本視点

気づこう

つながろう

支え合おう

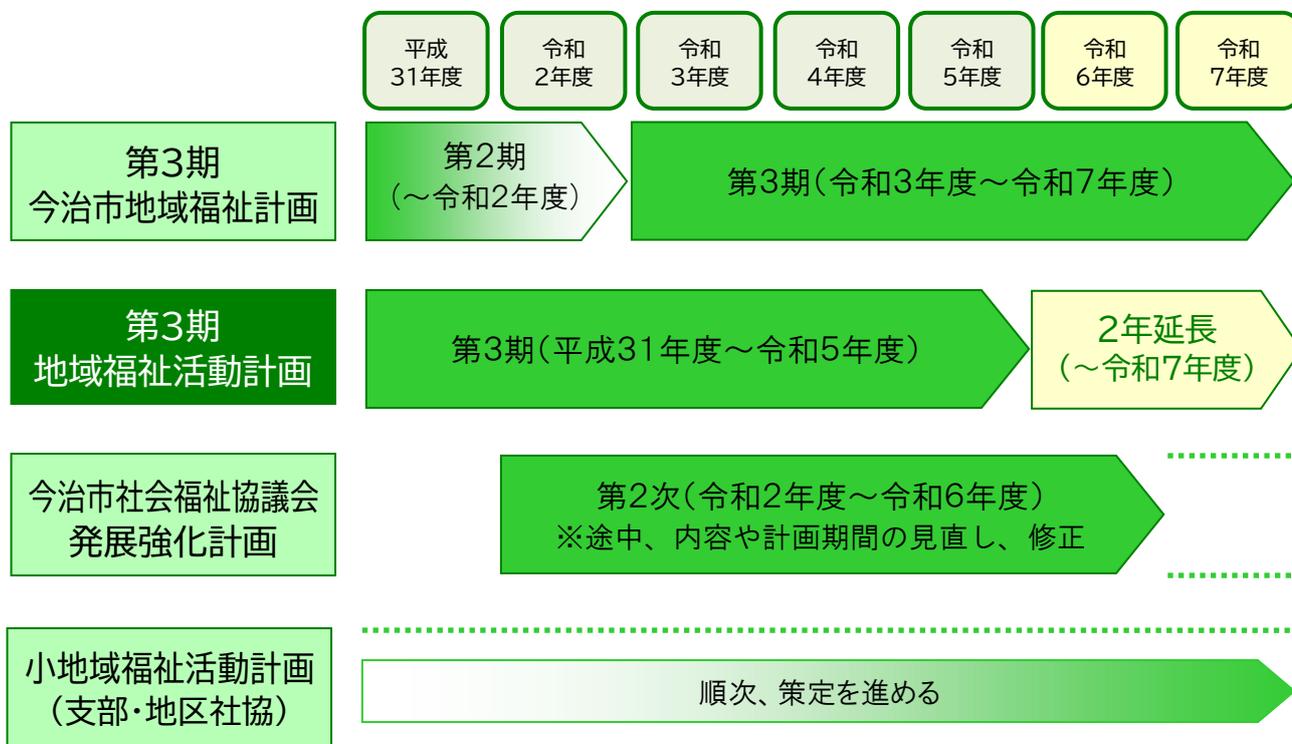
ともに暮らそう

障がいの有無、性別や国籍、経済的な事情等に関係なく、一人ひとりが尊重される、また、人や地域のやさしさに包まれ、この今治に住んでよかったと心から思えるまちをめざしていこうという思いが込められています。

計画当初に示した基本理念と4つの基本視点への思いは、「地域共生社会」の考え方も共通しており、基本理念と基本視点に基づいた取り組みを推進していきます。

## 3. 計画期間の修正

新型コロナウイルスの影響に伴う計画の進捗の遅れ、新しい生活様式に対応した福祉活動を取り入れていく必要があるため、計画期間を2年延長し、計画の終了時期を令和5年度から令和7年度（5年間から7年間）に修正しました。



- 今治市が策定している「第3期今治市地域福祉計画」と連携を図ります。
- 社会福祉協議会の将来の事業展開、運営の指針を示した「今治市社会福祉協議会発展強化計画」とも整合性を図ります。

## 4. 修正・見直し後の計画の全体像

### 基本理念

一人ひとりが輝き、人と地域をやさしく包むまち いまばり

### ①気づこう

地域福祉を進めるために、まず人や家族を想い、地域への関心や愛着をもつことが何よりも大切です。また、目に見えにくい住民の困りごとやSOSを見逃がさず、受けとめていくことを大切にしていきます。

#### 活動目標①

困りごとに気づき、  
受けとめよう

活動項目① ニーズ発見の仕組みづくり

活動項目② 相談しやすい環境づくり

例) 家庭や地域に出向き困りごといち早く気づく

例) 身近に相談できる場づくり

#### 活動目標②

人や家族・地域への  
やさしさを育もう

活動項目③ 配慮や支援を必要とする方の理解の促進

活動項目④ 家庭・地域・学校と連携した福祉教育の推進

例) 配慮を必要としている方と住民との接点づくり

例) 地域への愛着を育むプログラムづくり

#### 活動目標③

みんなに知ってもらおう

活動項目⑤ 地域のことを考えるきっかけづくり

活動項目⑥ 情報発信の工夫と広報の充実 **修正**

例) 地域の現状や課題を知り、できることを話し合う

例) 動画やSNSの活用、情報のバリアフリー化

### ②つながろう

住民だれもが孤立することなく、住み慣れた地域で暮らしていくためには、住民同士のつながりの再構築が重要です。住民の困りごとを受けとめ、適切な対応につなげたり、地域で新たな担い手づくり、交流や連携の輪を広げていきます。



#### 活動目標④

ともに活動する担い手を  
つくろう

活動項目⑦ 若い世代への地域活動の継承と地域貢献の機会

活動項目⑧ 子育てを終えた世代や定年退職者の活躍の場づくり

例) 伝統文化や地域活動に参加できるきっかけづくり

例) 活動のきっかけづくり、ともに活動する仲間を増やす

#### 活動目標⑤

地域でつながろう

活動項目⑨ 見守り・小地域ネットワークの構築 **修正**

活動項目⑩ つどいの場、居場所づくり **修正**

例) 地域の担い手と多職種をつなぎ、話し合う場を作る

例) コロナ禍でも継続できるつながりづくりの場を作る

#### 活動目標⑥

つながりの輪を広げよう

活動項目⑪ ボランティア・市民活動の活性化

活動項目⑫ 社会福祉法人や企業等の社会貢献活動の推進

例) 活動者が交流・情報交換する機会を設け、活動の充実を図る

例) 地域の生活課題を把握し、強みを生かして活動に取り組む

本編の「第4章 地域の特色をいかそう」で示している支部活動計画も、24の活動項目と関連づけて推進していきます。

当初の計画と一部修正を行った活動項目には、**修正**と表記しています。

### ③ 支え合おう

隣近所など顔の見える範囲を基本に、見守り活動を展開し、災害時などのいざという時も助け合える地域づくりを進めます。また、災害時要配慮者への支援体制やボランティア活動の体制づくりを行うとともに、生活を支える資源の開発・拡充を図っていきます。

#### 活動目標 ⑦

お互いさまと言える  
地域にしよう

#### 活動項目⑬ 近隣の助け合い活動

#### 活動項目⑭ 生きづらさを抱えるご本人・家族を地域で支える活動

例)隣近所で見守り、支え合えるグループづくり  
例)悩みや不安を話すことができる機会をつくる

#### 活動目標 ⑧

災害時にも助け合おう

#### 活動項目⑮ 災害時要配慮者の支援体制づくり

#### 活動項目⑯ 被災者支援と災害ボランティア活動の体制整備

例)避難時や避難生活中の配慮や支援方法を学ぶ  
例)平時から地域内外の団体とつながり、連携を強化

#### 活動目標 ⑨

安心して生活できる  
仕組みをつくろう

#### 活動項目⑰ 生活支援サービス等の開発・拡充

#### 活動項目⑱ 地域福祉活動を支える財源の確保

例)地域での見守りやお手伝い等、互助の支え合い  
例)地域福祉活動への賛同者や応援者を増やす

### ④ ともに暮らそう

年齢や性別、障がいの有無等に関係なく自分らしく生活し続けられる地域、生きやすい社会をめざします。また、少子高齢化・過疎化が進み、従来の営みが難しくなってきた地域課題への手立てや複合的な課題をもつ世帯を支えていきます。



#### 活動目標 ⑩

一人ひとりの権利を守り、  
活躍できる社会にしよう

#### 活動項目⑲ 子どもや若者、障がいのある人の自立・社会参加の支援

#### 活動項目⑳ 総合的な権利擁護の推進 **修正**

例)障がいのある人たちの余暇活動や職業体験の機会づくり  
例)意思を尊重し、生活しやすい場の創出を支援する

#### 活動目標 ⑪

お互いを認め合い、誰もが  
生きやすい社会にしよう

#### 活動項目㉑ 合理的配慮の推進

#### 活動項目㉒ 外国人や性的マイノリティなど多様な生き方・文化の尊重

例)障がいや合理的配慮について学ぶ機会づくり  
例)お互いの文化や思い、生活のしづらさを知る

#### 活動目標 ⑫

制度の狭間や深刻な地域の  
課題に対してチャレンジしよう

#### 活動項目㉓ 深刻な地域課題に対する手立て

#### 活動項目㉔ 孤立や複合的な課題を抱える人・家族への寄り添いサポート **修正**

例)暮らしに直結する深刻な課題に対する社会資源の開発  
例)生活の安定に向けて、関係機関と連携した支援を行う

## 5. 計画の修正内容

### (1) 新しい生活様式（ウイズコロナ）に対応した地域福祉活動の展開

2年以上におよぶ新型コロナウイルス感染症は、私たちの暮らしを一変させ、地域福祉活動にも大きな影響が及びました。たとえば、住民同士の交流の場は、3密を避けるために、多くの活動が自粛されました。

コロナ禍でも住民がつながり続ける地域福祉活動を展開していくために、関連する活動項目の内容を一部修正しました。

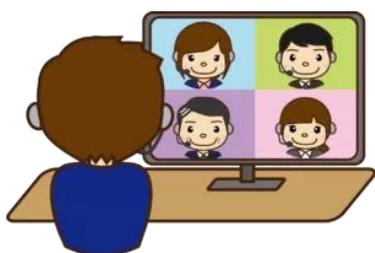
#### ①地域のつながりを絶やさない工夫・活動

##### 活動項目9 見守り・小地域ネットワークの構築

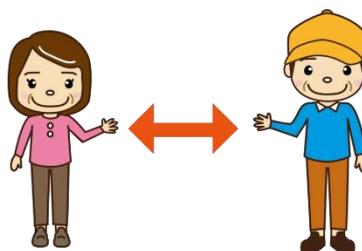
計画書 57 ページ	〈一人ひとりができること〉 ※追加 ②人と会うことができなくても、手紙や電話連絡、携帯アプリなどを通して連絡を取り合い、つながりをもち続けるよう工夫しましょう。
---------------	---

##### 活動項目10 つどいの場・居場所づくり

計画書 57 ページ	〈地域で取り組みたいこと〉 ②従来のサロン活動を継続しながら他のサロンとの交流や多世代交流も交えながらサロン活動を行っていきましょう。 にとらわれず屋外やオンラインなどを活用して、気にかけて活動や地域のつながりづくりの場を創出しましょう。 〈社会福祉協議会の取り組み〉 ※追加 ③新たな生活様式に対応し、従来の公民館や集会所で行うつどいの場にとらわれず、オンラインカフェ、公園のベンチや地域の縁側となっているような場などを把握・啓発することで、一人ひとりのつどいの場・居場所となる場を広げます。
---------------	---



例) オンラインでつながる場



例) 適度な距離で、気にかけて活動

離れていても、人や社会との  
つながりや心地好さが感じられる  
場を広げていきましょう



②情報を入手しにくい方に対する配慮に加え、相談や情報提供等のオンライン化  
活動項目 6 情報発信の工夫と広報の充実

計画書 53 ページ	<p>〈社会福祉協議会の取り組み〉</p> <p>③情報のバリアフリー化 関係団体やボランティアグループと協力し、コミュニケーションや情報収集に配慮の必要な方への適切な情報提供を行います。と利活用のサポートを行います。</p>
---------------	---

③新型コロナの影響等に伴い、生活が困窮する世帯等に対する支援  
活動項目 2 4 孤立や複合的な課題を抱える人・家族への寄り添いサポート

計画書 71 ページ	<p>〈社会福祉協議会の取り組み〉</p> <p>④新型コロナの影響で生活が困窮する世帯への支援（※追加） 新型コロナウイルスの影響などで生活が苦しくなった世帯に対して、生活の安定に向けた相談支援を行うなど関係機関と連携して支援を行います。</p>
---------------	--

## (2) 今治市社会福祉協議会としての新しい事業との関連

住民の福祉ニーズに対応し、新しく今治市社会福祉協議会においてスタートしました取り組みとの整合性をとるため、関連する活動項目の内容を一部修正しました。

### ①よりそい安心事業（自主事業）

活動項目 2 0 総合的な権利擁護の推進

計画書 67 ページ	<p>〈社会福祉協議会の取り組み〉</p> <p>②生きがいの場生活しやすい場の創出や支援 認知症になっても、障がいがあっても、一人ひとりの意思が尊重され、生きがいをもち、生活がしやすい場の創出を支援していきます。</p>
---------------	---

### ②障がい者の安否確認電話等サービス事業（市受託事業）

活動項目 9 見守り・小地域ネットワークの構築

計画書 57 ページ	<p>〈社会福祉協議会の取り組み〉 ※追加</p> <p>③ひとり暮らしで体調に不安がある等の理由で安否の確認が必要な障がい者等に対し、定期的に電話等による安否確認と生活相談を行います。</p>
---------------	---

令和4年度には全国規模の「地域福祉実践研究セミナー in 愛媛・いまばり」を開催し、これからの地域福祉活動の方向性を学ぶ貴重な機会となりました。

【セミナーで提言のあった主な方向性】

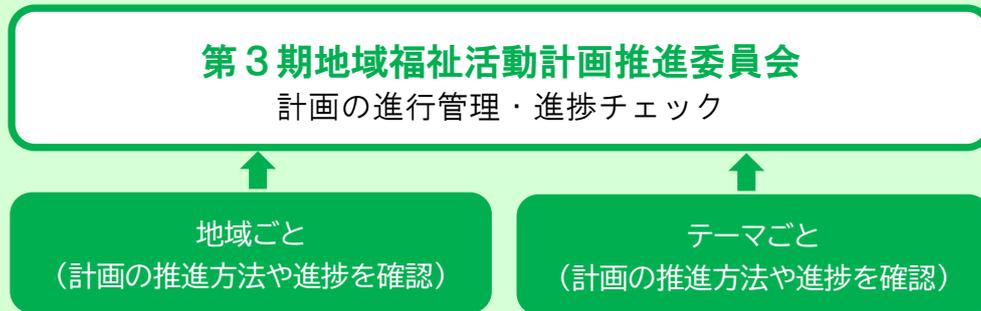
身近な地域の拠点から包括的・重層的な相談支援体制へつなぐ取り組み

誰もが安心して、支障なく利用できる福祉サービスの維持・開発

計画を推進していくことで、セミナーで提言いただいた方向性に近づけていけるよう努めていきます。

## 6. 計画の進行管理と評価方法

### 進行管理



- ① 修正後の計画を推進していくため「第3期地域福祉活動計画推進委員会」において計画の進行管理・評価を行います。
- ② 地域ごとやテーマごとに活動者や関係組織・部署と活動計画の推進方法や進捗を確認しあう場を設けます。

### 評価方法

- ① 進捗状況を測る評価指標を設定し、評価指標に沿った見直し後の目標値や達成基準を活動項目ごとに決めました。
- ② 量的評価、プロセス評価、質的評価をふまえ総合的に評価し、取り組みの問題点や課題、その要因を検討して取り組みの改善を図ります。

量的評価	量的目標（数値目標）を設定し、実績値をもとに評価します。
プロセス評価	活動の主体である住民の参加や連携の広がりなど、取り組みのプロセスを振り返り評価します。
質的評価	取り組みに対する満足度や意識の変化、住民の地域生活課題と取り組みの状況にも着目し、評価します。

全体事業・支部ごとの評価シート（別添）に沿って評価・改善を行います。

「第3期地域福祉活動計画（本編）」は、今治市社会福祉協議会のホームページからダウンロードし、閲覧することができます。ぜひ、ご覧ください。

### 第3期地域福祉活動計画 修正版

発行日 令和5年4月  
発行 社会福祉法人 今治市社会福祉協議会  
〒794-0043 今治市南宝来町1丁目9-8  
TEL 0898-22-6018 FAX 0898-22-6022  
URL <http://www.imabari-shakyo.jp>

